

2022年6月 JICA 月次レポート

生理で学校に行けなくなる女子学生の教育環境改善事業

<活動状況>

1. 教員を対象とした月経時の衛生管理、性教育、ジェンダー啓発のトレーニングの実施
2. 保護者や地域住民を対象に安全な月経時の衛生管理や女子の教育の重要性、また事業の紹介を目的とした啓発集会の実施
3. 教員監督のもと、布ナプキンの作成、月経時の衛生管理に関する指導やトレーニング、学校施設の管理など、Child-to-child approach（生徒から生徒へ教える方法）で実施する月経衛生管理クラブの設立（ブタンバラ県）
4. 女子の教育推進、布ナプキン利用者の増加を目的としたラジオスポットメッセージ（コマーシャル）の放送
5. Happy-Pad プロモーションセンターでのナプキン作成トレーニング（ワキソ県）

1. 教員を対象とした月経時の衛生管理、性教育、ジェンダー啓発のトレーニング実施

教員の能力向上を目的に各県で研修を実施した。各対象校より男性教員 1 名、女性教員 1 名の 2 名、計 60 名に加え、各校の校長を含む合計 90 名を対象とし、教員が実施する生徒達のトレーニングにおいて重要なポイントを正確に伝えられるような知識やスキルを身に付けることを主な目的とした。

日時	県	活動状況	備考
6月7日	ブタンバラ	全対象 10 校から教員 22 名を対象に研修を行った。	Kiwala 初等学校、Lwamasaka 初等学校、Kitagobwa 初等学校の教員 8 名が不参加であったが、6月13日までに出席した他の教員からトレーニングを受けた。
6月10日	ムベンデ	全対象 8 校から教員 15 名、更に県教育長、教育センター長、チバリンガ準郡長が出席した。	6月10日は8校を対象に研修を行った。欠席した Christ the King 初等学校、Kasaana 初等学校は後日コミュニティ啓発集会において研修内容を共有した。
6月15日	ワキソ	全対象 10 校から教員 17 名を対象に研修を行った。	全 10 校が参加したが、学校が多忙ゆえに 1 名しか参加できなかった学校もあった。

教員トレーニングの活動写真

<ブタンバラ県>



月経時の衛生管理セッション



衛生、トイレ施設に関するセッション



ジェンダー啓発セッション



性教育に関するセッション

<ムベンデ県>



プロジェクトオフィサーによるジェンダー啓発セッション



代表が参加者にハンドブックを手渡している。



県教育委員が閉会の挨拶をしている。



プロジェクトマネージャーによる月経時の衛生管理セッション

<ワキソ県>



SORAK 代表の開会の挨拶



プロジェクトオフィサーによるジェンダー啓発セッション



月経時の衛生管理セッション



性教育に関するプレゼンテーションの様子

2. 保護者や地域住民を対象に安全な月経時の衛生管理や女子の教育の重要性、また事業の紹介を目的とした啓発集会の実施

ブタンバラ県とムベンデ県で住民を対象に啓発集会を開いた。ムベンデ県では2校のみ実施、残りの8校及びワキソ県に関しては7月に実施予定である。この活動では各対象校の地域に住む男女40人を対象に、3県で計30回の集会を開催、合計1,200人に対し啓発を行う予定である。集会の主な目的は月経時の衛生管理の問題やジェンダー啓発、性教育に関する情報共有を行うことであり、活動を通して男女生徒、保護者、教員、地域の指導者たちそれぞれの役割を認識させることを目標としている。

日時	県	活動状況	今後の予定
6月13日	ブタンバラ県 -Kayenje 初等学校 Ntolomwe 初等学校 Nawango 初等学校	10地域にて啓発集会を実施した。対象校の保護者会、学校運営委員会から目標の対象人数400人のうち、今回は180人（女性106人、男性74人）の参加者を対象に啓発活動を行った。	目標人数到達に向け、以下の日程で追加の集会を予定している。 ・7月14日 Lwamasaka 初等学校、 Butende 初等学校 ・7月16日 Kitagobwa 初等学校、 Nawango 初等学校 ・7月21日 Kiwala 初等学校、 Nawango 初等学校、 Butalunga 初等学校
6月14日	-Butende 初等学校 Kiwala 初等学校 Lwamasaka 初等学校 Butalunga 初等学校		
6月15日	-Nkokoma 初等学校 Kitagobwa 初等学校		

	校 Bule 初等学校		
6月16日	ムベンデ県 -Katega 初等学校	対象校 2 校の保護者会、学校運営委員会のメンバーを含む地域住民 111 人を対象に集会を実施した。 Katega 初等学校では 46 人（女性 34 人、男性 12 人） Christ the King 初等学校では 65 人（女性 34 人、男性 31 人）の参加があった。	今回実施できなかった 8 校は以下の日程で集会を予定している。 ・7月6日 Kabowa 初等学校 ・7月7日 Kiyiita 初等学校、Gwanika 初等学校 ・7月8日 Dyangoma 初等学校 ・7月9日 Kasaana 初等学校、CAWODISA 初等学校 ・7月10日 Ikula 初等学校、Kasasa 初等学校
6月24日	-Christ the King 初等学校		

<ブタンバラ県>

	
学校コミュニティ（Bule 初等学校）	プロジェクトオフィサーが啓発を行っている（Bule 初等学校）
	
月経衛生クラブのメンバー。男子生徒は活動に意欲的である。（Kayenje 初等学校）	月経衛生クラブの生徒に T シャツを手渡している（Kitagobwa 初等学校）



月経衛生クラブのメンバーがブックレットとTシャツを受け取っている。(Nkokoma 初等学校)



月経時の衛生管理、性教育、ジェンダー啓発 (Nkokoma 初等学校)

<ムベンデ県>



集会に出席する地域指導者 (Katega 初等学校)



保護者会長が子どもたちを学校に通わせることの重要性を訴えている。(Katega 初等学校)



代表によるプロジェクト紹介 (Katega 初等学校)



学校長による開会の挨拶 (Christ the King 初等学校)



プロジェクトオフィサーが関係者それぞれの役割について話している。(Christ the King 初等学校)



代表が学校教育の重要性について参加者に話している。(Christ the King 初等学校)

3. 教員監督のもと、布ナプキンの作成、月経時の衛生管理に関する指導やトレーニング、学校施設の管理など、Child-to-child approach(生徒から生徒へ教える方法)で実施する月経衛生管理クラブの設立

この活動はブタンバラ県のみで先行しての実施となった。合計 10 校にて月経衛生クラブを設立し、各クラブに女子 10 名、男子 5 名の合計 15 名（合計 150 名）のメンバーを選出した。ムベンデ県とワキノ県では 7 月のコミュニティ啓発集会の中で月経衛生管理クラブの設立する予定である。

<ブタンバラ県> 月経衛生クラブの活動写真

	
<p>月経衛生クラブ（Nkokoma 初等学校）</p>	<p>月経衛生クラブ（Butalunga 初等学校）</p>
	
<p>月経衛生クラブの部長・副部長（Ntolomwe 初等学校）</p>	<p>月経衛生クラブ（Ntolomwe 初等学校）</p>
	
<p>月経衛生クラブ（Kitagobwa 初等学校）</p>	<p>月経衛生クラブと地域住民（Bule 初等学校）</p>

	
<p>月経衛生クラブ（Kayenje 初等学校）</p>	<p>月経衛生クラブのメンバーがセッションに出席している（Lwamasaka 初等学校）</p>

4. 女子の教育推進、布ナプキン利用者の増加を目的としたラジオスポットメッセージ（コマーシャル）の放送

月経時の衛生管理、女子生徒の教育、生理用布ナプキンに関するラジオスポットメッセージを以下のように放送した。

- ムベンデ県：Luna FM（1日6回）
- ワキソ県：Voice Kiryagonja（1日2回）
- ブタンバラ県：Voice of Butend、Voice of Kikambwe（毎日繰り返して10～11回）

➤ 反響

- ブタンバラ県のKatega初等学校での活動中、スポットメッセージを聴いた保護者が月経管理用品と女子生徒の教育の関係性において、より理解が深まったことを話してくれた。
- ブタンバラ県チタゴブワの住民は繰り返しのスポットメッセージが住民それぞれの役割を再認識する手助けとなっているとの報告があった。
- ブタンバラ県のブテンベ村のLittle Flowers初等学校、Wamala Foundation初等学校の2校はこのスポットメッセージを聴き、女子生徒に優しい学校環境づくりを推進する必要性を感じブタンバラチームに支援に関する問い合わせをしてきた。

5. Happy-Pad プロモーションセンターでのナプキン作成トレーニング（ワキソ県）

これまで94人の生徒にトレーニングを実施し、94枚のナプキンを作成した。このトレーニングは毎週月曜から土曜まで実施しており、現在も継続中である。他のコミュニティからも興味を持ってもらっており、ラジオトークショー内で問い合わせがあったり、センターに直接訪問を受けたりしている。

➤ 反響

- 使い捨てナプキンでなく布ナプキンを使用することの利点を学んだ生徒たちは、布ナプキンの使用に適応しつつある。
- 男子生徒はナプキン作成に意欲的である。月経時の衛生管理に関する問題について学んだところ、とても協力的になった。

	
ナプキンの型をとるセッション	ナプキンの型どり
	
縫製セッション	型どり
	
ブタンバラ県プロジェクトチームへの研修中	布ナプキンの完成品

効果的な影響、教訓、今後の課題とその取り組み

活動	効果的な影響	教訓
教員トレーニング	<ul style="list-style-type: none"> 参加者は各自の地域に戻った後に参加できなかった教員や生徒、また保護者に対してトレーニングを行うことを約束してくれた。 ワキソ県では、政府の指導者たちがトレーニングに参加し、監督や監視などを今後も継続的に行っていくことに 	<ul style="list-style-type: none"> 住民間での慣習的障壁や誤った情報に対応していくためには、計画を慎重に練り、定期的に啓発活動を行っていく必要があることがわかった。また、月経にまつわる逸話を解き離すには段階的に少しずつ行うべきである。

	加え、今回対象となっていない学校においても当活動で実施したことを応用し支援に努めていくことを約束してくれた。	
コミュニティ啓発	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民の積極的な参加があった。 ムベンデ県の Christ the King 初等学校では保護者が洗面施設改善のため、各自 1,000 シリング献金した。これは啓発集会の中で活動に賛同してくれたことから生まれたものである。 ブタンバラ県、ムベンデ県では適切な知識を習得し今までの考えや態度に変化があった男性たちもいた。娘を持つ男性たちは月経時の娘をサポートしたいという意向を示した。 	<ul style="list-style-type: none"> 月経が女性のだけの問題であるという考えのもと、女性が男性と情報を共有できなかった長い歴史によって男性が関与できない現状が生まれた。 月経衛生クラブで子どもを主体にすることや男子生徒と共に活動をするという考えはこれまで軽視されてきた事例として地域住民や教員に受け入れられた。 保護者とのオープンな集會に子どもたちも参加することで家庭での親子間コミュニケーションもより積極的に、より自信をもって行えるようになった。

活動	課題と取り組み
教員トレーニング	<ul style="list-style-type: none"> 3 県での参加者数が 62 人であり、各校 3 名の参加（計 90 名）を理想としたため、その人数は下回った。 <ul style="list-style-type: none"> 欠席者も同じ認識を持てるよう、欠席者がいた学校へは後日フォローの連絡をした。出席した教員たちは皆同僚にトレーニング内容を共有することを約束してくれた。 ブタンバラ県のブテンベ、ブタルンガ、ムベンデ県の Katega 初等学校における慣習的障壁。 <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトチームは参加者の慣習を尊重しつつ事実を伝えられるよう科学的視点から月経を説明し、バランスをとりながらトレーニングを行った。
コミュニティ啓発	<ul style="list-style-type: none"> 慣習的規範が男女平等の実現や適切な月経衛生管理の障壁となってしまう。 <ul style="list-style-type: none"> 多くの慣習的認識で考えられているように月経衛生管理に関する問題は女性だけの問題ではないことから、男性女性両方に対し啓発していく。 言語：読み書きができない現地住民が多く、トレーニングの評価に時間がかかった。 <ul style="list-style-type: none"> 重要な情報は実演しながら現地の方言で共有した。 教員は口頭でのアンケートを実施し、読み書きができない保護者に代わって回答を記入した。 6 月 15 日に教師がストライキを行ったため、学校が閉鎖され啓発集会の参加者も少なくなった。結果として活動自体にも遅れが生じた。

プロモーションセンター	<ul style="list-style-type: none"> ● プロモーションセンターでのサービスを知らない人がまだ多い。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 今後も活動や宣伝を通し適切な月経衛生管理についての啓発に努めていく。
--------------------	---

関係者のコメント

「研修中に学んだ各地域で入手できるものを使い応用するということを全ての参加者に提案したいです。また、この課題への追跡調査として今後各学校を訪問していく予定です。」

県教育委員（教員トレーニングの閉会の挨拶の中で）

